

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	グー・チョコキ・パー 新琴似		
○保護者評価実施期間	2026年1月15日		～ 2026年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数) 17
○従業者評価実施期間	2026年3月2日		～ 2026年3月6日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者との連携と信頼関係の構築	定期的な茶話会や勉強会の開催、契約時の説明に加え、必要に応じた家庭訪問や電話相談を密に行っている	保護者からのニーズをより細やかに計画に反映させるため、面談の頻度や記録の共有方法を検討していく
2	計画的な支援とチーム体制	チームで日案・週案を作成し、前月の活動を振り返った上で月案に反映させるサイクルが確立されている	職員間での支援方針のズレをなくするため、活動直前のミーティングでの役割分担をさらに徹底していく
3	安全管理の徹底	ヒヤリハットの全体共有、虐待防止研修の実施、てんかん発作等への対応マニュアル整備など、安全体制を構築している	訓練のバリエーションを増やし、災害や緊急時など、より多様なケースを想定したシミュレーションをおこなっていく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	関係機関との連携の更なる深化	学校等との打ち合わせは行っているが、より踏み込んだ支援の連続性の確保をしていく	地域支援会議への積極的な参加や、関係機関との合同研修などを通じた顔の見える関係作り
2	ホームページによる情報発信の頻度	公表は行っているものの、活動内容や事業所の特色をリアルタイムに伝えきれていない面がある	活用ルールの再整備を行い、保護者や地域の方々が活動の様子をイメージしやすい情報更新を心がけていく
3	日々の安全確認のさらなる充実と定着	マニュアルの整備や研修は進んでいるが、日々の業務がスムーズに進む中で、ふとした瞬間の「もしも」に対する意識を常に高く保ち続けることの難しさを感じている	ヒヤリハットだけでなく、「こうしたらもっと安全」という前向きなアイデアを出し合い、マニュアルを皆で育てる仕組みを作っていく